



関町小通信

平成26年10月31日

練馬区立関町小学校

校長 吉田隆司

展覧会 ～心を育てる～

1枚、2枚・・・と、日ごとに木々の葉が風に舞いながら落ちてくる数が増えてきました。中には美しく色づいたものもあり、日々秋が深まっていくのを感じます。

さて、本校では11月28日・29日の両日展覧会を開催いたします。日頃の授業において描いたり、作ったりした作品をこの機会にぜひご覧いただきたいと思えます。今年度は、「芸術で夢と感動を彩ろう」をテーマとし、子供たちがそれぞれに精魂込めて創りあげた作品です。当日の会場には精一杯の努力が込められた輝く作品が並び、そこからは子供たちの豊かな感性を感じとることができると思います。

ところで、最近子供たちが手先に集中して作ったり、描いたりすることが不得手になっているということが言われます。確かに指先に少量ののりをすくい、のり付けすることなどはなかなか難しいようです。

また、刃物などを使った作業でも、経験

が少ないためかおぼつかない手つきで、けがが心配ということも少なくありません。

しかし、良い作品を作りあげるには指先に神経を集中させ、思いを込めて作品を完成させることが求められます。そして、何よりも大切なことは心を込めて作るのですが、その中でも「たくましさ」が欲しいと思います。展覧会を通して「たくましい心」を育てるということは、一つのを根気強く、ていねいに仕上げることから始まります。失敗しても途中で投げ出さずに自分の力で最後まで仕上げることで、そこに喜びが生まれ次への自信が湧いてきます。

展覧会に向けて、目を皿にして作品づくりに取り組んでいる子、アドバイスを受け止めながらさらにより良いものをめざしている子など、今まさに子供たちは苦しみと喜びが同居しながらの作品づくりの時です。子供ならではのアイデアや表現に満ちた作品づくり、この貴重な体験はきっと子供たちの心を豊かなものにしてくれるものと思います。

11月の生活目標「物を大切にしよう」

教室や特別教室などを大切に使う。 後片付けをしっかりとしよう。

学用品などを大切に使う。 自分の持ち物には名前を書こう。

展覧会の準備が間もなく始まります。慌ただしくなり、ついつい後片付けなどがおろそかになりがちです。学校でも「使用した物は、必ず元の場所へ戻そう」などと声をかけ、日頃から物を大切にする意識を育てています。

ご家庭でも声かけなど、ご協力をお願いいたします。